

山田池公園の観察会のご案内

自然と文化科・観察委員会

毎年・厳冬期の樹木の生き様（冬芽）の観察を行って来ていますが、本年度は野鳥などの観察も可能な場所との希望から「山田池公園」を選定致しました。

1. 《実施期日》2022年2月11日（金・休日）

2. 《集合場所・時間》 山田池公園 パークセンター南側広場

9時50分集合、解散は 午後3時頃を予定

（当日朝のNHK・大阪の午前の降水確率50%以上の場合は中止）

3. 今回の観察法

＊午前；冬芽の観察・指定ルート・樹木の観察と記録。

・コロナ対策上、密を避ける為、1, 2班が先行、3, 4班は15分遅れの出発とします。
また、各班を適正な観察人数5～7名にグループ分けして観察・記録紙記入を行います。

（班の集計・まとめは班リーダーが実施 集計結果は委員会に提出）

＊午後の観察

・班又は、グループ単位で公園西地区の樹木観察・野鳥観察・ワイワイガヤガヤ法で。

＊具体的な観察・記録の方法等は班・観察委員会リーダーの指示に従ってください。）

4. 服装及び所持品

軽ハイキングスタイルで可、（ 防寒対策、コロナ対策を ）

観察用具、雨具、昼食及び飲料、配布の記録シート・地図

図鑑（文一総合出版：冬芽ハンドブックを推奨・あれば・・・保育社・冬の樹木）、

5. 《現地へのアクセス》

京阪電車「枚方市」→京阪バス枚方市駅北口④番から長尾駅方面行きで「出屋敷」下車
4番のりば 9:12 発 9:17 発（公園入口からパークセンターまで10分）

JR学研都市線「藤阪駅」から公園まで北西へ徒歩700m(パークセンターまで徒歩20分)

＊注意：私鉄・地下鉄・JR等は休日ダイヤで運行されます。

6. 参考《公園の歴史》

山田池公園の中心となる山田池は1200年前の築造といわれ、深刻な水争いの記録も残されているような歴史的にも貴重なため池であった。また、春日山には神社（春日社）が建てられ、地元の豊作祈願の信仰の場でもあった。（現在は社跡の石碑のみとなっている）近年まで、人々の暮らしに役立つウメ、茶などの栽培もおこなわれ、里山的な利用をされてきた。こういった山田池の歴史性から、都市公園法施行50周年記念事業による「日本の歴史公園100選」に選定されました（平成18年度）。(公園HPより)

で屋敷バス停



山田池公園の冬芽調査・記入シート

調査日

担当

班

グループ

場所	樹 種	冬芽	区分 1		区 分 2			花芽の 判別可	その他
		有無	裸芽	麟芽	頂芽	頂生側芽	側芽		
エリア	例:クスノキ	○		○	○		○		
A	ムクノキ								
	エゴノキ								
	アオギリ								
	シロダモ								
	アカメガシワ								
	イロハモミジ								
	イヌマキ								
	コナラ								
	アキニレ								
	ケヤキ								
	アラカシ								
	ヤマモモ								
	トチノキ								
	クヌギ								
	ホソバタイサンボク								
	シンジュ								
	モッコク								
	ソメイヨシノ								
	サルスベリ								
	アベマキ								
	ソヨゴ								
	サンシュユ								
B	ポプラ								
	シナサワグルミ								
	キョウチクトウ								
	ユーカリ								
	イチヨウ								
	ハナノキ								
	ホオノキ								
	ナンキンハゼ								
	ギンドロ								
	イタヤカエデ								
	ユズリハ								
	プラタナス								
	オニグルミ								
	ラクウショウ								
	ハリエンジュ								
南出入口	ユリノキ								

* 冬芽 観察された樹種については ○ を入れる。

* 冬芽の区分1, 2: 同上 花芽の記述:明らかに花芽が葉芽と区別出来るものに ○

* その他 副芽、陰芽等の記載

2

[illegible]